



道農連

活動トピックス(9月) 第8号

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~donouren/> ☎011-241-5416

1. 米・水田農業対策委員会で25年秋闘における運動の骨格を固める

道農連は9月3日、第3回米・水田農業対策委員会(石川純雄対策委員長)を開き、ホクレンとの意見交換を行うとともに、25年秋闘における米・水田農業対策の課題と運動の枠組みを固めた。

ホクレンとの意見交換では、25年産全道共計の概算金設定及び販売計画について説明を受け、道農連からは概算金水準に理解を示す一方、さらなる集荷率向上に向けた体制強化や共計費の圧縮などを求めた。

秋闘では、全国的な24年産米在庫の増大、需要量の減少などから25年産米をめぐる厳しい環境が想定される中、従来どおり計画生産参加者が不利益を被らないよう主張しつつ、需給調整対策の実施や生産数量目標の設定・配分に関する訴えを強めていくとした。

2. 道議会農政議員団に2013年「真の農政改革」政策提言を説明

9月19日、道農連は、超党派の議員で構成される道議会農政議員団(本間勲会長)による農政改革などについての意見交換会に参加し、2013年「真の農政改革」政策提言の説明を行った。

意見交換会には、山田委員長、山居書記長らが参加したほか、JA道中央会も出席し、今後の農政改革の考え方を提言した。道農連からは「作物別支払」と「多面的機能固定支払」の2つを「基礎的な直接支払」と位置付け、わが国の農業・農村を支える基本政策として求めていくとした。

なお、同意見交換会には道農政部からTPP交渉の現状等についての報告が行われ出席者の情報の共有を図った。

3. 道農連女性書記の会、第52回定期総会をオホーツク網走で開催

道農連女性書記の会は、9月26～27日、網走市で第52回定期総会を開催した。

平成24年度の活動報告と平成25年度の活動計画などを採択。総会後は、大地のりんご代表の道山マミ氏を講師に迎え「オホーツクの食と農の魅力について」と題し講演を行った。

また、翌日の研修会では、博物館網走監獄や天都山展望台・オホーツク流氷館などを視察した。

詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(011-241-5416)まで